



安全な作業で事故防止 雪下ろし技能講習会

1月28日、役場車庫で雪下ろし技能講習会が開催され、町民や町職員など約20名が参加しました。大曲消防署員が講師となり、雪下ろし作業時の心構えや安全確保について説明。作業開始前には家族や近所の人に声を掛け、万一来備えて携帯電話を携帯することなどを呼び掛けました。続いて、命綱やはしごを使った実演が行われ、参加者たちは「巻き結び」や「もやい結び」などの命綱の結び方やはしごを固定する際の注意点などを学びました。

税についての理解を深めました 知って得する税講座

2月12日、大曲税務署職員を講師に迎え、「知って得する税講座」が美郷町公民館で開催されました。

講座では、税の仕組みや役割のほか、間違えて覚えてしまいがちな内容について分かりやすく解説。税にはさまざまな特例措置があり、適用には事前の申請手続きが必要であること、所得税と住民税は要件が異なることなどを説明し、「少しでも疑問に思うことがあったらそのままにせず、気軽に大曲税務署に相談してほしい」と呼び掛けました。

参加者たちは「大雪被害を受けた場合の税の控除はどのように」「毎年申告をしている家族が亡くなった場合はどうすればよいのか」など身近な事例について積極的に質問し、講師の説明に熱心に聞き入っていました。



Wリーグ選手が美郷町で熱戦を繰り広げました 第15回Wリーグ大仙仙北美郷大会

2月15日、美郷総合体育館リリオスでバスケットボール女子日本リーグ機構が主催する羽田ヴィッキーズと山梨クィーンビーズの試合が開催されました。町内の小中学校生も観戦に訪れ、選手たちのプレーを食い入るように見つめていました。試合終了後には、両チームの選手たちによるサイン会が行われ、ファンの方との交流を楽しみました。



男衆が力強く駆け上がりました 金澤八幡宮ぼんでん奉納

2月18日に金澤八幡宮（横手市）でぼんでん奉納が行われ、美郷町からは前郷・森先地区と石神地区の男衆が参加しました。前郷・森先地区は芭蕉（ばしょう）、石神地区は干支のウマをかたどったぼんでんを奉納しようと、金澤八幡宮の鳥居前で他地区の男衆と先陣争いを繰り広げ、その後、雪の坂道を威勢よく駆け上がってぼんでんを奉納し、一年の五穀豊穡と家内安全を祈願しました。

寄贈ありがとうございました 秋田県仙北建設業協会などが実話コミックを寄贈

このたび、秋田県仙北建設業協会と協会の若手会員でつくる建友会から、東日本大震災の発生時に人命救助や物資輸送のために必死で道を切り開いた人たちの実話を収めたコミック「啓け！被災地へ命の道をつなげ」80冊を寄贈していただきました。

2月19日には役場庁舎で贈呈式が行われ、建友会の藤嶋文人会長から後松教育長に目録と本が手渡されました。寄贈していただいたコミックは、町内小中学校や美郷町学友館に配布し、キャリア教育の推進に向けて有効に活用します。



第2回 町議会 臨時会



平成26年第2回町議会臨時会が2月7日に開かれました。審議された議案は次のとおりです。

可決された案件

■美郷町日本酒による乾杯を推進する条例の制定について

(関連記事…14ページ)

■平成25年度美郷町一般会計

補正予算第10号

日本酒による乾杯を推進する条例の啓発に要する費用の追加、道路等の除排雪に要する経費の増額など、歳入歳出にそれぞれ1億6047万1千円を追加し、歳入歳出予算の総額を115億9219万7千円としました。

魅力探しの意味

美郷町長 松田知己



平成25年度美郷町スポーツ賞授与式であいさつを述べる松田町長

風

たちも、みなさんが誇れる美郷であり続けるためにがんばります。

その美郷町、今年11月に満10年を迎えます。「早いなあ」というのが私の率直な感想ですが、課題を一つひとつ乗り越えながら、みなさんに信頼され、心寄せられる美郷町になるよう、そして「うちの町はねえ」と語れば、「あゝあの町ね」と答えてもらえる美郷町をめざし、がんばってきた10年でした。そのがんばりが今年一つの節目を迎えます。そしてその節目、ただ切りのいい通過点かというところではありません。確かな役割があります。竹を例に取りますが、竹は節が無ければ必ず途中で折れます。つまり、竹の節は竹自体を強くする役割を持っている訳

です。こうした節目を持つ役割事柄によって違いはあるものの共通性があるのではないかと思います。それは、その先の成長に「強さ」を持つという役割です。もちろん、この度の美郷町の節目もそうあらねばなりません。そうした節目にするためにも、私たちは今一度、美郷の良さを再認識しながら、新たな良さを発見していくことが大切です。それが次の行動における踏み台になり、かつ成長に向けた強さにつながるからです。現在、町が展開している美郷の魅力ある風景を探す写真コンテストも、そういう気持ちで作品を募集しているところですよ(詳しくは今月号の広報をご覧ください)。「ふるさと美郷」に改めて意識を高めてもらい、「どうだ、いだろう」という風景写真、どんどん応募してもらいたいと思います。それが、美郷町民の、美郷町民による、美郷町民のための強さにつながると私は信じています。

「鬼追ひし彼の山 小鮒釣り 彼の川」。知らない人はいないであろう唱歌「ふるさと」です。望郷の想いがストリートに伝わりますが、きつとこの歌に何かを感じる方は、故郷への想い、共通です。そして、そういう気持ちを持つてる故郷であってほしい希望も、きつと共通です。この3月に美郷を旅立つみなさん、故郷への想いを大切に新たな地でどうかがんばって下さい。私